

# 道徳科学習指導案（2年4組）

## 1 主 題 相互理解、寛容 B(9)

### 2 主題設定の理由

#### (1) 教材観

##### ①学習指導要領上の位置付け

##### B(9) 相互理解、寛容

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

##### ②主題の価値

本主題では、自分の考えや意見を人に伝えることや相手の考えや立場を尊重することの大切さについて考える活動を通して、いろいろなものの見方や考え方があることを理解させることができる。また、自分と異なる他者の立場や考えを尊重する必要がある場面において取り得る行動を広い視野から多面的・多角的に考えることで、道徳的に判断していく力を高められる。さらに、相互理解についての意義を十分認識したうえで、生徒一人ひとりが寛容の心や他者の意見を認めて素直に取り入れる謙虚さをもって他に学び、自己を高めていこうとする実践意欲や態度を育て、望ましい人間関係の構築を図っていくことができる。

##### ③主題の系統性

- ・小学校では、「相互理解、寛容」について、広がりや深まりのある人間関係を築くために、自分の考えを相手に伝えて相互理解を図るとともに、謙虚で広い心をもつことの意義について学習している。
- ・中学校では、これまでに「相互理解、寛容」について、「異なる立場では、それぞれのものの見方や考え方がある」という道徳的価値について学習している。
- ・「相互理解、寛容」について、自分の考えや意見を人に伝えることは、人間関係を築き、相互理解を深めるために欠かすことができないことに気付かせるとともに、時には寛容の心や他者の意見を認めて素直に取り入れる謙虚さをもって他に学び、自己を高めることにつながっていくことを学習していく。

#### (2) 生徒観（男子 16 名、女子 18 名 計 34 名）

##### ①既習の学習内容や活動

- ・お互いの考えを可視化したり、ワールドカフェなどの形態をとったりして、自分の考えが他者の考えとどのような関係にあるのかを意識しながら「考え、議論」してきた。

##### ②本主題に関わる生徒の実態

- ・多面的・多角的に考えることについて、半数以上の生徒が他者の感じ方、考え方を踏まえながら理解しようとしている。異なる立場や考え方、感じ方に触れる場面において取り得る行動を広い視野から考えようとするのが今後の課題である。
- ・道徳的価値の深まりについて、多くの生徒が自らの行動や考えを見直そうとしている。読み物資料の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとするのが今後の課題である。

##### (3) 指導観

- ・導入の段階では、これまでの経験や具体的な事例から道徳的価値の意味を考えさせたり、読み物資料と類似した事例を提示して対応を考えさせたりすることで、本時の主題に関わる問題意識をもつことができるようにする。
- ・展開の段階では、パネルディスカッションやお互いの考えを可視化することで、自分の考えが他者の考えとどのような関係にあるのかを意識しながら「考え、議論」できるようにする。
- ・終末の段階では、導入で提示した課題を再度振り返ったり、授業で問題解決した内容と関連したことを取り上げたりすることで、道徳的価値を深めることができるようにする。

## 3 資料について

本主題に迫るため、自分の考えや意見を発信することが相互理解につながることや、相手の考えや立場を尊重し、寛容な心をもって接することの大切さについて描かれた読み物教材「ジコチュウ」を提示する。中学校で班長を務める主人公が、放課後に作業をしているときなども途中で帰ってしまう佐々木に対して怒りを露わにする。母の入院により弟と妹の面倒をみななければならない、時間的なゆとりがないことを知るという内容を扱ったものである。先に帰ろうとする佐々木を追いかけ「ジコチュウ！」と吐き捨ててしまう主人公や時間的なゆとりがない中で行動する佐々木にも共感を得られる。お互いの立場や状況の違いも考慮しながらも、自分の考えや意見を発信することや自分と異なる他者の立場や考えを尊重することが相互理解を深め、寛容の心や他者の意見を認めて素直に取り入れる謙虚さをもって他に学んでいくための道徳的判断力を高めたい。

#### 4 本時の展開

##### (1) 目標

望ましい人間関係を構築するためには相互理解が必要であることを理解し、自分の考えや意見を発信するとともに、他者の立場や考えを尊重していくことの大切について道徳的に考え、判断することができる。

##### (2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p><b>1 本時の課題をつかむ。</b></p> <p>○相互理解について考え、問題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を思いやる必要がある。</li> <li>・自分の思いを伝えることも必要である。</li> <li>・対立した時は、どうすればよいのだろう。</li> </ul>	<p>○問題意識をもてるようにするために、昨年度意識してきた「心つなぐ」を取り上げ、相互理解や寛容について考えられるようにする。</p> <p>○授業終了時の自分の考えと比べることができるように、授業開始時における課題に対する考えを書かせる。</p> <p>○何人かに発表させ、終末で振り返ることができるようにする。</p>
<p><b>課題：お互いを理解し、他者の思いを受け入れるためには？</b></p>	
<p><b>2 相互理解や寛容について考えを深めていく。</b></p> <p>○状況をわたし、「ジコチュウ」の範読を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物 主人公(班長)、佐々木(班員)</li> <li>・作業の途中で帰ってしまう佐々木に対して、班長である主人公は困っている。</li> </ul> <p>○柱立てを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途中で帰ってしまう佐々木について</li> <li>・佐々木に対して、班長である主人公が怒りをわにすることについて</li> </ul>	<p>○互いの考えを出し合い、考えを深めやすくするために、道徳の隊形にして議論できるようにしておく。</p> <p>○資料の内容や主人公の立場を捉えることができるようにするために、登場人物や状況などを表す場面絵を提示しながら状況をわす。その際、登場人物と自らの共通点をとらえさせながら行い、登場人物と自らを重ね合わせられるようにする。</p> <p>○道徳的に判断させるために、資料を分けて配布し、範読する。</p>
<p>「ジコチュウ！」と言ったとき、主人公はどのような気持ちだったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐々木は自分勝手である。</li> <li>・(自分の気持ちを)なぜわかってくれないんだ。</li> <li>・用事があるから仕方ないでしょ。</li> <li>・そこまで言われる筋合いはない。</li> <li>・理由を伝えずに帰ってしまうことはよくない。</li> <li>・ちゃんと早く帰る理由を伝えるべきである。</li> <li>・何か事情があるのかもしれない。</li> <li>・やることはやっているので、問題はないと思う。</li> <li>・班長は集団に声をかけておくべきだし、佐々木もちゃんと伝えるべきである。</li> <li>・自分が言われたら、やはり不愉快になる。</li> <li>・言われたとしても、仕方ない部分はある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ジコチュウ！」と言われた時、佐々木はどんな気持ちだったと思いますか？</li> <li>●どちらの考えに共感できますか？</li> <li>●<input type="text"/>には、どのような言葉が入るとと思いますか？</li> </ul> <p>○他者の考えに触れ、自分の考えを深められるようにするために、2色のカップを用いて表現し、パネルディスカッションを行う。</p> <p>○二項対立で終わることなく深い学びにつなげるために、互いの考えを共有しながら、それぞれの立場に立って考えることの必要性に気付けるようにする。</p>
<p>佐々木からの手紙を受け取ったとき、主人公はどのような気持ちだったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は何てことを言ってしまったんだ。</li> <li>・これから班長としてどうしていくべきか。</li> <li>・主人公は、佐々木が早く帰ることを認めるようになった。</li> <li>・班長として、時間やルールなどを決めた。</li> <li>・佐々木の事情がわかったから。</li> <li>・佐々木は主人公のことを理解していない。佐々木も主人公のことをわかってあげるべき。</li> <li>・主人公の気持ちや立場を考えることも必要。</li> <li>・相手が受け入れてくれたら、それに応えるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●もし、あなたが「ジコチュウ！」と言われたら、どんな気持ちになりますか？</li> <li>○主人公と佐々木の両方の気持ちを考えることで、登場人物の自我関与を図れるようにする。</li> <li>●どうして主人公は佐々木の気持ちを理解できたのだと思いますか？</li> <li>○「ジコチュウ！」と吐き捨てるように言っていた主人公の心の変化に気付かせることで、他者の気持ちを受け入れることの大切さや必要性に気付くことができるようにする。</li> <li>●佐々木は主人公のことを理解すべきだと思いますか？</li> <li>●みなさんは、佐々木にどんなことを教えてあげたいですか？</li> <li>●主人公が悪かったのでしょうか？</li> <li>○パネルディスカッション場面で主人公(佐々木)寄りの考えだった生徒に佐々木(主人公)の気持ちを問うことで、異なる立場の気持ちを考えさせることで、多面的・多角的な見方をできるようにする。</li> </ul>
<p><b>3 価値の一般化を図り、本時の課題を振り返る。</b></p> <p>振り返り：お互いを理解し、他者の考えや思いを受け入れるためには？</p>	<p>○課題の振り返りをワークシートに記述し、全体で共有する。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>自分の考えや意見を発信するとともに、自分と異なる他者の立場や考えを尊重することの大切さについて、どのように行動することが望ましいのかを自分のこととして考え、判断することができる。(発言・ワークシート)</p>
<p><b>&lt;振り返り&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も他者も、それぞれのものの見方や考え方にとらわれてしまうものである。だからこそ、相手に自分の気持ちを伝えたり、相手の立場に立って考え受け入れようとしたりすることが必要である。〔多面的・多角的な見方〕</li> <li>・時には自分の考えや意見を他者に伝えることに困難が生じたり、意見や思いを伝えられなかったりすることもある。お互いが相手の考え方や立場を尊重することが大切である。〔深い価値理解〕</li> </ul>	
<p><b>&lt;研究の具体的な手だて&gt;</b></p> <p>(1)自分と他者の考えを比較検討し、新しいものの見方や考え方を創り出せるような他者との対話の工夫</p>	